

知的財産への取り組み

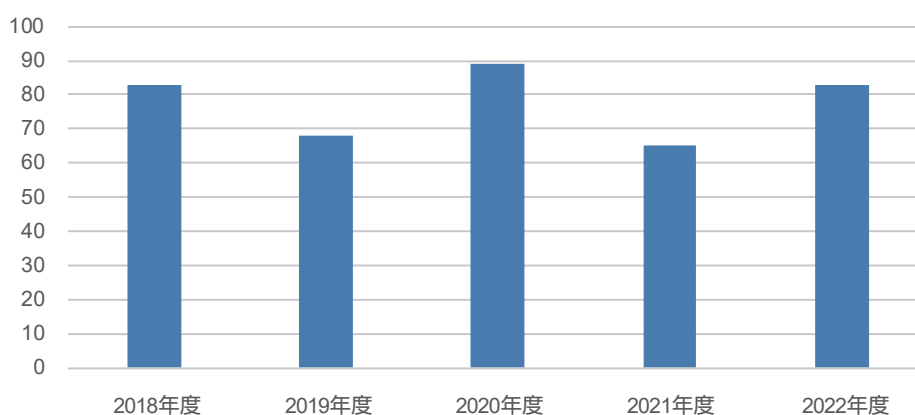
クリモトグループでは、知的財産を経営資源の欠かせない要素の一つとして位置づけ、新たに創出された技術開発成果の積極的な権利化およびその活用を推進するとともに、他社の知的財産を尊重することを通して、企業活動の持続的な発展に努めています。

特許出願の状況

当社では、先行調査から発明発掘、権利化までの活動を同一の知的財産部員が一貫して担い、事業部門と知的財産部門とが緊密な意思疎通をとることで、技術開発成果の迅速かつ漏れのない権利化を支援しています。

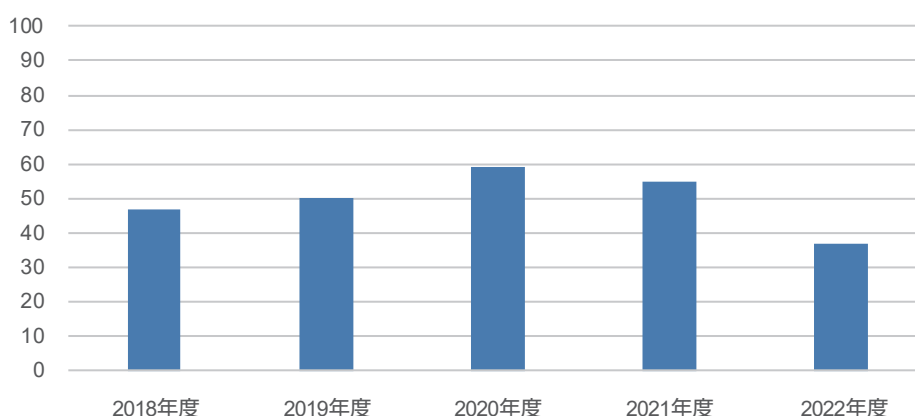
今後も事業部門と知的財産部門との連携をさらに深めながら、経営戦略と一体となった知的財産活動を実践してまいります。

特許公開件数の推移



※「特許公開件数」とは、出願公開制度により出願から約18カ月後に出願内容が公開された件数。

特許登録件数の推移

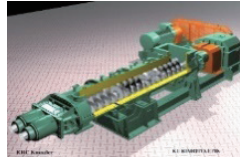


※「特許登録件数」とは、特許出願が審査を経て特許権として成立した件数。

クリモトを支える知財

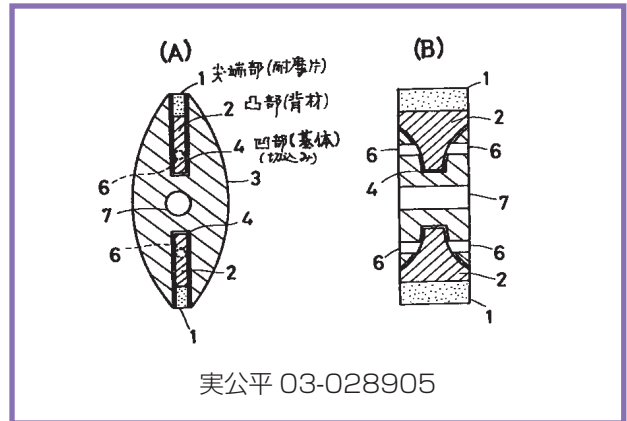
クリモトグループでは、開発成果や日々の改良・改善のアイデアを積極的に権利化しています。「クリモト ROAD」でも取り上げた二軸回転式混練機も例外ではなく、古くから特許出願等行っています。ここでは、この装置を開発した機械システム事業部の昔の出願を振り返ります。

実用新案を活用した 開発初期

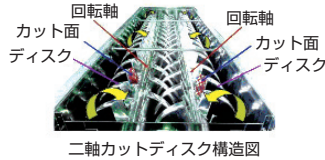
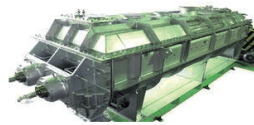


本装置の知財の歴史を遡ると、初期の出願は、混練機に内蔵されるパドルの実用新案から始まっていました。

パドルの先端部分が摩耗しやすいことに着目し、この部分だけ耐摩耗材料を嵌め込むことを特徴としています。



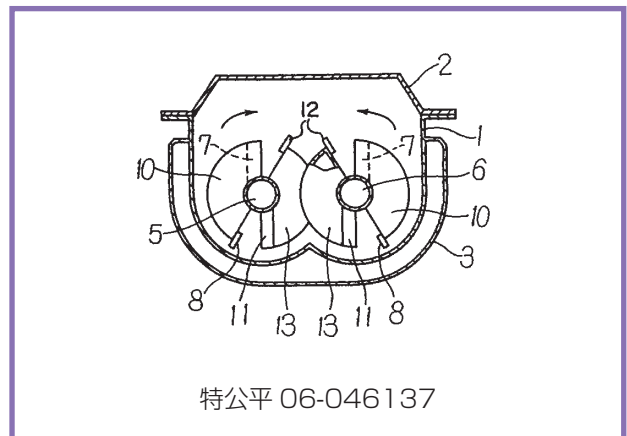
他特許に 数多く登場した特許



他の特許審査で引用された回数がトップクラスに多く、業界的に注目度の高い特許を紹介します。

この特許は、パドルの形状に特徴があります。パドルに形成されたカット面により、回転と共に被処理物を送り出し、装置内の滞留を防ぐ効果があります。

他の特許に先駆けて出願したことにより、特許の効果を大きく享受できたと思われま



この他にも、クリモトグループは本装置について多数の特許や意匠等の知的財産権を保有していますが、その中でも、上述のようなパドルの特許は比較的高い割合を占めています。

パドルは混練の性能に大きく影響する重要な部品であり、顧客の要望に応えるために新たなアイデアを産み出し続けてきた歴史があります。その成果を多くの特許出願に繋げてきました。

特許のみならず、顧客要望を実現するための設計ノウハウ、運転ノウハウも日々蓄積しています。今後もこれらの知的財産の創出を継続し、この装置のさらなる進化に繋げてまいります。